

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

| | |
|---------|--|
| 研究課題名 | 幾何学的群論の深化と展開 |
| 研究代表者 | 藤原 耕二（京都大学・大学院理学研究科・教授） |
| 研究期間 | 平成27年度～平成31年度 |
| 審査結果の所見 | <p>応募者らの幾何学的群論に関する研究業績は、国際的に極めて高い評価を受けている。幾何学的群論は、近年重要性が高まっている数学の分野であり、トポロジー、微分幾何学、関数解析など、多くの分野と関連している。</p> <p>研究計画は、応募者が主要な役割を果たす MSRI（アメリカ数理科学研究所）のプログラムや京都大学数理解析研究所におけるプロジェクトと関連させながら、現在の幾何学的群論の国際的な研究拠点を継続し、更に発展させることを目指してよく準備されている。このように、本研究は高い成果が期待できることから、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p> |